

01-02-04 初めての子育て

自転車やピアノでも最初から上手に出来ないのが普通です。何度も“失敗⇒反省⇒練習⇒成功(または、失敗⇒また反省)”を繰り返しながら上手になって行くのです。しかし、今のお母さん方の世代はなぜか失敗を異常に怖がります。“結果重視”の教育の弱点かなとも…? 「失敗は成功のもと(=失敗しても、それを反省しながら欠点を改めて行けば、やがては成功にたどり着く)」という言葉があるように、“失敗はダメ”と決めつけずに“反省”すれば、いずれ、“経験”に変わることを覚えて下さい。また、我々年寄り、育児で頑張っているお母さん方を、それとなく見守り、上手に“反省”へと導ければ最高なのですが…。しかし、現実には「教えて下さい。」「どうすれば良いのですか?」と“結果(=正解)”のみに気を取られ、“経験”を得るチャンスを見ず見ず(=目の前に見ながら)逃している様な場面に遭遇する事が有ります。初めての育児は、“失敗⇒(経験者に聞く)⇒反省⇒経験”の繰り返しです。焦(あせ)らず・じつくり、“勉強(=ここでは、子どもが先生)”して“経験”を積(つ)んで下さい。お母さんの気持ちに余裕が出てくると、知らず知らずのうちに“失敗 ⇒ 反省 ⇒ 経験”のパターンが身についてくると思います。

一方、この過程は、子どもと“会話”する事にも繋(つな)がります。そしてまた、お母さんと子どもが“会話”をしながら共に成長して行くのです。しかし、“失敗の原因”に気づかないで、一人で悩んでいると、なかなか“反省”までたどり着けません。「この子、ダメみたい。｣と考えたり、「私、ダメみたい。｣と自分を責めたり、どちらにしても良い結果にはなりません。そのような時は、一人で悩まずに、周囲の経験者や保健師さんを上手に使うのです。“恥ずかしい”とか、“恥”と考える必要はありません。“我(が)を通さず”、白紙の状態“助言”を聞いて欲しいのです。何かの瞬間に、絡み合った糸が解(ほど)けるように次々と問題が解決し、今までと違って子育てを楽しめる自分に変化できるかも知れません。

一方、“結果(=正解)”のみを追う子育ては疲れます。『子育てに正解無し!』です。『育児と育児学』の稿も参照願います。

